

四條畷市教育委員会ニュース

(学校教育課)

内容：

- ・ 幼小中で入学式
- ・ 新規採用教職員辞令交付式
- ・ 平成27年度の取組み

「平成27年度 新学期スタート」

○幼小中で入学式

本市の公立幼小中学校園で、平成27年4月6日(月)に小学校7校、7日(火)中学校4校、8日(水)幼稚園1園で入学式・入園式が行われました。約1138名の新しい園児、児童、生徒をそれぞれの小中学校園に迎えて平成27年度の新学期がスタートしました。



入学式での様子(四條畷南小学校)

四條畷南小学校(1年生全児童数27名)の入学式では、期待に胸をふくらませ、ちょっぴり緊張した様子の1年生に向かって、3年生の児童がお祝いのことばと楽器演奏で温かい歓迎の気持ちを伝えました。

四條畷南小学校の羽森清司校長は、新入生に対して「三つ大好きになってほしい」というお話をされ、「学校大好き」「勉強大好き」「友達大好き」という表現で1年生に話をされました。また、あと2回寝て、4月8日に登校した時は、校門で門のおじさん(学校受付員)や先生方に元気よく「あいさつ」をしてほしいというお話もされました。

○新規採用教職員辞令交付式

4月1日付で、四條畷市公立学校教職員に任命された小学校5名、中学校1名の辞令が藤岡巧一教育長から渡されました。終了後、市内小学校3校、中学校1校の校長の引率のもと、子どもたちとの出会いに、また、教職生活に期待と夢をいっぱい所属校に着任しました。

藤岡教育長は新規採用教職員に対して、社会人としての常識を持ち、誰にも挨拶のできる人、組織人として自覚をもって職務に励むように述べられました。また、自ら郷土を愛する人となり、子どもたちに郷土の良さを誇りをもって教えてほしいと話され、郷土にまつわる歴史上有名な楠正行(くすのきまさつら)、三好長慶(みよしながよし)、安岡正篤(やすおかまさひろ)の3名の人物について紹介をされました。



辞令交付式で教育長から



公務員としてのサービスの宣誓



教育長から辞令を受け取って



校長先生と赴任校へ

○平成27年度の取組み

豊かな自然、歴史あふれる街、四條畷市で子どもたちは育ちます。夢あふれる畷の“財(たから)”のために第2期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画(平成27年度~平成29年度)“夢・希望・笑顔”輝く子ども

「なわて★Blooming★プラン575」を策定しました。

第1期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画では、各学校の校内授業研究会など教職員の授業改善への意識向上や土曜日フォローアップ教室の充実、家庭学習・生活習慣対策などに取組んできました。その結果、一定の成果を収めてきましたが、「正答率40%以下の層の改善」や「書く力・読み取る力・表現する力の向上」、「自己肯定感・学ぶ意欲の向上」など、継続して取組む課題が残されています。今後、学校においてこれらの課題を全教職員で認識し、第2期計画において重点的に取組んでいきたと考えています。

平成27年度から**子どもがイキイキワクワク、ひとづくりはまちづくり、人と人との絆づくりのプロジェクト**を進めてまいります。皆様方のなお一層のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。

平成27年度からの取組みを一部紹介します

※詳しくは四條畷市ホームページから **子育て・教育**⇒**学校教育**⇒**学校教育**⇒**学力向上**
⇒**児童生徒学力向上3ヶ年計画**の**なわて★ブルーミング★プラン575**をご覧ください。

① 畷の授業スタンダードの確立

- ・みんなが「わかる・できる」魅力ある授業づくりに努めます。
- ・コミュニケーション能力の育成のため、子どもの主体的な学びの実践研究、言語活動を充実させる授業展開、英語教育推進事業などを行います。
- ・児童生徒の実態把握を行い、自己肯定感や学ぶ意欲を高めるための取組みを進めます。



② フォローアップ対策

- ・きめ細かな学習支援として、放課後や夏休みなどの学習支援、学習指導員や学生ボランティアの活用そしてテスト前の集中学習支援などの学力低位層へのサポートを図ります。
- ・貧困状況にある子ども、保護者に対するサポートシステムを構築し、子どもの貧困対策の推進及び教育の機会均等、健康で文化的な生活の保障、次世代への貧困の連鎖の防止をめざします。

③ 家庭学習・生活習慣

- ・自主学習ノートを活用し、家庭学習の習慣化及び自学自習力の向上に努めます。
- ・携帯、スマホなどの使用時間について家庭内でルールを決め、遅くとも夜10時（小学生は9時）になったら使用をやめる「10（テン）まで運動」を進めます。
- ・食育の推進において、1日の始まりは食事から“早寝・早起き・朝ご飯”運動の啓発を行います。
- ・保育所、幼稚園、小学校と連携を図り就学前からの生活習慣の定着を図っていきます。

④ 小中連携・一貫教育の推進

- ・第1期のモデル校（田原中学校区）の研究成果を活かし、中学校区ごとの特色あるテーマ、めざす子ども像を設定し、義務教育9年間を見据えた教育の推進を図ります。

平成27年度 学校教育課の紹介

芝田 孝人 学校教育課長（忍ヶ丘小学校教頭から）
河上 弘子 教育部上席主幹（教育環境整備・教科指導担当）
上井 大介 教育部上席主幹（人権教育・教科指導担当）
川口 厚 学校教育課長代理
花岡 純 主幹
西田 理絵 主幹
川上 友弘 主幹
金子 撰 主幹（岡部小から）
辻川 麻世 主幹（寝屋川市立和光小から）
前田 茂伸 主任
田中 文子 事務職員
森田 政己 学力向上対策コーディネーター

転出された方の紹介

乾 昭彦 教育部次長兼教育総務課長
四條畷中学校校長へ
鉄 寿広 学校教育課長
四條畷小学校校長へ
広谷 光輝 主幹 四條畷南小学校教頭へ
中谷 法雄 主幹 四條畷東小学校教頭へ